

Interview

健康経営の
きっかけ

「従業員の健康が良い製品の提供につながる」



代表取締役社長 黒田 昇 様

労働基準局主催の「働き方改革」セミナーの内容などを参考に、2015年度頃から従業員の安全と健康増進に取り組み始めました。労使が協働して活動する中で、社内の協力体制や関連活動が強化されていきました。

従業員の安全・健康が、最終的には「食品会社として安心・安全な製品をお客様へ提供する」という使命達成につながるという信念のもと、健康経営の取り組みを進めています。

取り組み
1

健康セミナーDVD・ラジオ体操・歩行アプリ

食生活の改善

運動機会の増進

取り組み内容

協会けんぽの健康セミナーDVDを活用

協会けんぽから発行される「事業所健康度診断(事業所カルテ)」を参照し、その内容から「生活習慣病の予防」を課題として「食生活の改善」と「運動機会の増進」の取り組みを行っています。

「食生活の改善」の取り組みとして、協会けんぽ栃木支部からDVDをお借りして、従業員全員参加の健康セミナーDVD視聴会を実施しました。労働基準局などからも映像をレンタルし、視聴する予定です。



DVD視聴会の様子
テーマは「食生活改善のコツ」

ラジオ体操実施と歩行アプリ導入

また、「運動機会の増進」の取り組みとして、各所属部単位でラジオ体操を実施しています。さらに、従業員に栃木県の健康づくり事業である「とちまる健康ポイント」への参加を勧めています。この事業では、「FUN+WALKアプリ」をダウンロードして歩くことでポイントが貯まり、栃木の特産品などが当たる抽選に応募できます。



朝のラジオ体操で
心身ともにスッキリ目覚める!

FUN+WALKアプリ



取り組みの効果

ラジオ体操の導入により、朝からすっきり業務を行えるようになりました。また、FUN+WALKアプリ導入をきっかけに、意識して歩くようになった従業員も出てきています。

今後は、従業員にアンケートを実施し、関心のあるテーマを抽出して、情報提供していきたいと思っています。

ここがポイント!

取り組みを周知するための案内を作成する際は、従業員に興味を持ってもらえるよう、イラストなどを使用し、簡潔に分かりやすく作成するようにしています。

取り組み
2

健診バスで健康診断を一斉受診

健診受診勧奨

健康診断を受診しやすいよう、工場敷地内に健診バスを手配し、2日間に渡って一斉に受診できるようにしています。

また、各自のニーズに合わせて、ピロリ菌抗体や腫瘍マーカーなど検査項目を追加できるオプションを用意しています(費用は本人負担)。

さらに、再検査の通知があった従業員には社内担当者から受診勧奨の発信を行い、早期の受診を促し、健康問題の早期発見に努めています。

●健診に追加できるオプション検査

- ・甲状腺ホルモン
- ・尿酸
- ・ピロリ菌抗体検査
- ・アレルギー検査(48種)
- ・PSA(前立腺)
- ・腫瘍マーカー(大腸がんなど消化器系、膵臓・胆管・胆のうがん、肝がん) など

取り組み
3

会社内に保健指導の面談場所を準備

保健指導実施

社内に面談場所を設け、対象者に面談を受けてもらっています。各自が抱える健康課題への取り組み方を専門家に相談することで、改善に臨む従業員が増

えるなど、自己の健康に関心を持つようになってきています。

その他の取り組み

インフルエンザ予防接種を会社内で実施

過去に関連会社内でインフルエンザが流行し、業務に大きな影響を与えたことがありました。そのため、会社内にインフルエンザ予防接種会場を設け、費用も会社が一部負担することで、接種を受けやすくなりました。

担当者からのメッセージ



日常の身近な健康課題の改善から始めることで、取り組み方が見えてきます。難しく考えず小さなことからコツコツと実行すれば、一人でやることでもないので、皆が協力してくれて一体感も感じられます。

会社データ

会社名	日本穀粉 株式会社
設立	1887年2月
所在地	栃木県小山市
従業員数	86名
事業内容	創業より130有余年にわたって、四季それぞれのお菓子の原料となる“お米の粉”の製造・販売に携わり、古きよき風習に新しい発想を吹き込み、最近ではパンやケーキの材料としても使われるようになってきました。

